

会 議 録		令和 4 年 7 月 5 日 作成	令和 8 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府城陽警察署協議会（令和 4 年度第 1 回）		
開催日	令和 4 年 6 月 27 日（月曜日）		
時 間	午後 2 時から午後 4 時までの間（120分）		
場 所	京都府城陽警察署 講堂		
出席者	中島会長、大久保副会長、森委員、生駒委員、石原委員、岸本委員、 武田委員、亀川委員、森委員 （欠席 佐川副会長、薄田委員） 計 9 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警備課長、広聴係長 計10人		
諮 問 事 項	城陽警察署を支援する諸団体について		
会 議 内 容	1 署長挨拶 司会 副署長 2 会長挨拶 3 警察・委員自己紹介 4 協議 司会 会長		
	(1) 諮問事項説明 城陽警察署を支援する諸団体について ア 城陽防犯協会・城陽交通安全協会について～広聴係長 イ 城陽防犯推進委員協議会について～生活安全課長 ウ 城陽地域交通安全活動推進委員制度の概要～交通課長 【委員】 城陽防犯推進委員協議会（以下防推と記載）や城陽地域交通安全活動推進員（以下地活と記載）の高齢化が進んでいることから、今後も活動を継続するためにどのような対策が必要と考えているのか説明願いたい。 【警察】 協働で行う啓発活動などは平日の昼間帯がほとんどで、中高年層は仕事があり平日昼間の活動が出来ず、そのため人員の確保が難しい。 逆に何かご意見があればお伺いしたい。 【委員】 防犯協会や交通安全協会の会員数の減少や防推や地活の委員の高齢		

化について、今後は個人だけではなく、地元企業のCSRや社会貢献活動を取り入れるのはどうか。

【警察】実際に防犯協会や交通安全協会への地元企業の入会は社会貢献活動の一環であることが多く、各企業とも城陽市の安全安心のために貢献してもらっているため、活動自体に賛同を得られる可能性は十分にあり、改善策の一つとして一考してみる価値はあると思う。

【委員】新一年生への黄色い傘や防犯活動などで警察官が配布しているチラシやティッシュなどの小物類が、交通安全協会や防犯協会の会員の会費で購入していると初めて知った。そういうことをもっとアピールすれば免許更新時に交通安全協会費を払う人も増えるのではないか。

【警察】あくまでも交通安全協会は警察とは別の法人であり、警察が宣伝するのは難しい。

(2) その他

【委員】民生委員をしており、訪問する高齢者宅で特殊詐欺と思われる電話がかかってきたという話を聞くが、実際はどうなのか。

会議内容

【警察】最近多いのは事実である。ほとんどの方が詐欺と見破るが、被害に遭われている方もいる。

【委員】防ぐ方法はないものか。

【警察】日頃から防犯教室の開催、交番のミニ広報紙で注意喚起を実施している。また、城陽警察署では宇治・城陽・久御山地域を放送エリアとしているFM宇治にて、特殊詐欺の予兆電話等が多数あればリアルタイムに注意喚起の速報を流してもらえるよう協力体制を確立している。

【委員】自転車のマナーが悪くルールを守らない人が多い。特に通学時間帯の高校生が目立つ。並走、右側通行、交差点から飛び出し等、何度も冷や汗をかかされている。通勤・通学時間帯の自転車の取締りのほか、学校などに対して生徒に注意するよう促してほしい。

【警察】高校生に限らず、自転車の指導や取締りは現在も行っており、今後も継続していく。また、各学校に対する交通安全教室なども引き続き実施していく。

5 事務連絡

令和4年度第2回城陽警察署協議会は、令和4年9月に実施予定である。

以上

第1回京都府城陽警察署協議会の開催状況

